



令和5年度



学校だより 12月号

自分大好き みんな大好きひとみかがやく西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡3-12-11 TEL 814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>



校外学習を通して育つ力

校長 佐藤 裕二

早いもので、2023年も残すところ1か月となりました。朝晩の冷え込みに本格的な冬の訪れを感じます。そんな中でも、子どもたちは毎日元気に学校生活を送っています。

10月から11月にかけて、「社会科見学」（5年生）、「こころの劇場鑑賞会」（6年生）、「泉区音楽会」（3年生）、「こどもの国遠足」（3年生）、「ズーラシア遠足」（1・2年生合同）、「社会科見学」（4年生）、「八景島シーパラダイス遠足」（5組）と校外学習が続きました。特に11月は毎週どこかの学年が校外へ出かけていくというような状況でした。

校外学習の価値は、何とんでも、学校ではできない体験的な活動をしたり、普段かかわれないような本物に触れたりすることができることです。遠足と社会科見学では目的は異なりますが、実際に現地へ行くことによってできる大きな学びがあります。

また、校外という社会に出て活動をするわけですから、そこでは学校以上に公共心や公德心が求められます。ルールを守って皆が気持ちよく過ごせるように行動すること、公共物を大切に扱い周囲の人たちに迷惑をかけずに行動することなど、道徳的実践力を身に付ける機会でもあります。実際に私も引率した6年生の「こころの劇場鑑賞会」では、市営地下鉄ブルーラインの中で周りの人たちを気遣っておしゃべりを控えるばかりではなく、高齢の方に席を譲る児童の姿も見ることができました。そういう姿は、校外学習ならではの姿です。

さらには、校外に出かけない学年の児童にも、普段とは違った様子が見られました。6年生有志が「あいさつ活動」と称して、毎日登校時に正門付近で挨拶をしています。6年生が校外学習でいなかった日、5年生が代わりに正門前に立ってあいさつ活動をしていました。学年を超えた活動の広がりがとても素晴らしいと思いました。また、1・2年生が遠足のためにピロティに集まっているところに、登校してきた5年生や5組の児童、あいさつ活動を終えた6年生が徐々に集まってきて出発式を見守り、出発時には大きな声で見送っていました。これも、日常とは異なる、校外学習ならではの光景だと心が温かくなりました。

校外学習は、様々な面で児童がステップアップをするよい機会です。これらの機会を生かして、充実した教育活動につなげていけるよう、今後とも取り組んでいきたいと思っています。



< 1・2年生を見送る子どもたち >